

家庭菜園で見られる蟲たち

〔ナメクジ〕

梅雨の頃になると、ナメクジがどこからともなく現れて家庭菜園の花や野菜を食べてしまいます。彼らは成体で越冬し、春先から活動を始め、春と秋にそれぞれ100個くらいの卵を産みます。卵は10日ほどでかえり、幼体はすぐに植物を加害しはじめます。雌雄同体（1個体中に雌雄どちらの特性も併せ持っている）で、気が合った（？）2匹が出会うと交配し、どちらもが卵を産みます。2匹の話し合いで、片方が雄に、もう片方が雌になるのかな、と思っていたら、どちらもが父親になり、母親にもなるのです。住みかは石の下など、だいたい一定しており、夜間にそこから出てきて餌を求めてかなりの距離を移動し、またそこに帰ってきます。寿命は種類によって違いますが、1年以上から3～4年とけっこう長生きします。

防除はメタアルデヒド剤を用いるか、ビールの様な誘引物質に集まったところを捕殺するのがいいでしょう。ただし、なかなか根絶することは困難です。なんとかうまく共存していく方法があればいいのですが。

